

## 第3章 声かけや訪問活動のポイント

### ① 生活リズムの中に取り入れて

一度に多くのことをせずに、余裕をもち無理はしないようにしましょう。  
身の回りの小さなことからまず手がけてみましょう。

### ② 相手の気持ちになって

良かれと思ってやったことが押しつけとなっては、せっかくの善意が無駄になってしまいます。してあげているのではなく、協力者としてたえず平等の立場で、相手が何を求めているのかを話し合みましょう。

### ③ 聞き上手になろう

なかなか外に出る機会の少ない人にとって、人が訪問してくれるのは大変うれしいものです。訪ねてきた人にいろいろなことを聞いてもらいたいものです。相手の伝えたいことを心を傾けて聞きとろうとすることが大事です。

### ④ 約束は守りましょう

訪問の中で約束したことは、きちんと果たしましょう。  
責任ある行動で、お互いの信頼関係を深めるようにしましょう。

### ⑤ 周囲の人々の理解を

地域住民に活動の理解を得ることが、実りある活動に発展します。

### ⑥ 秘密を守りましょう

訪問活動では、どうしても家庭内のことが他人の目に触れることになります。人には、他人に知られたくないことが数多くあります。訪問した人が、その家のことを他人に話したらどうなるでしょうか。自分のことが、知らないうちに他人に知られることは誰でも嫌なものです。知りえたことを他言せず、お互いのプライバシーの尊重に努めましょう。

### 【プライバシーを守る申し合わせ】

1. 誰にも他人には知られたくない秘密があることを理解しましょう。こうした態度で接することが、相互信頼の第一歩です。
2. 福祉推進員の活動は、困っている問題の相談にのり、手助けする助け合いの活動です。手助けに必要な個人情報を聞き出すことは避け、必要最小限のことにとどめましょう。
3. 活動上知りえた秘密は、不特定多数の他人に口外してはいけません。うわさとなって広がれば、信頼関係は一気に崩れてしまいます。
4. 個人情報の提供が問題を解決するために必要な場合は、本人に了解を得ましょう。
5. 個人情報や記録の保管、管理に万全を期し、みだりに他人の目にふれないようにしましょう。

#### プライバシーの具体例

- ① 年収、資産納税額などの財産関係
- ② 家庭の生活状況
- ③ 支持政党や宗教等の主義主張
- ④ 病歴や身体の障害等の状況
- ⑤ 学歴、職歴
- ⑥ 公的扶助等の受給歴
- ⑦ 結婚、離婚歴
- ⑧ 刑法、民法違反歴

